

Week of July 14 - I Am Innocent of This Man's Blood　　Small Group Lesson 10

知り合う

マタイ20:17-19を復読しましょう。予想通り、イエス様はユダヤ人の指導者たちに引き渡されました。指導者たちはイエス様を死刑に処し、あざけり、鞭打ち、十字架につけるために異邦人に引き渡しました。そしてイエス様は、三日目に甦りました。

イエス様に対するあざけりと拷問は、私たちの救いの代償と救い主の栄光について何を教えているのでしょうか？

聖句 – マタイによる福音書 27:15-28（聖書協会共同訳）

15 ところで、祭りの度に、総督は民衆の希望する囚人を一人釈放することにしていた。16 時に、バラバ・イエスと言う名うての囚人がいた。17 ピラトは、人々が集まって来たときに言った。「どちらを釈放してほしいのか。バラバ・イエスか。それともメシアと言われるイエスか。」18 人々がイエスを引き渡したのは、妬みのためだと分かっていたからである。19 ピラトが裁判の席に着いているとき、その妻が彼のもとに人をやって言わせた。「あの正しい人に関わらないでください。その方のために私は今日、夢で非常に苦しみました。」20 しかし、祭司長たちや長老たちは、バラバを釈放して、イエスを死刑に処してもらうようにと群衆を説得した。21 そこで、総督が、「二人のうち、どちらを釈放してほしいのか」と言うと、人々は、「バラバを」と言った。22 ピラトが、「では、メシアと言われているイエスのほうは、どうしたらよいか」と言うと、皆は、「十字架につけろ」と言った。23 ピラトは、「一体、どんな悪事を働いたというのか」と言ったが、群衆はますます激しく、「十字架につけろ」と叫び続けた。24 ピラトは手の付けようがなく、かえって騒動になりそうなのを見て、水を取り、群衆の前で手を洗って言った。「この人の血について、私には責任がない。お前たちの問題だ。」25 民はこぞって答えた。「その血は、我々と我々の子らの上にかかってもいい。」26 そこで、ピラトはバラバを釈放し、イエスを鞭打ってから、十字架につけるために引き渡した。27 それから、総督の兵士たちは、イエスを総督官邸に連れて行き、部隊の全員をイエスの周りに集めた。28 そして、イエスの着ている物を剥ぎ取り、深紅の外套を着せ、



学び

文脈から:

1. 18節について:
   a. 「彼」とは誰のことでしょうか？
   b. 「彼ら」とは誰のことで、***彼らは何を羨んでいるのですか？***
   c. 「彼を」とは誰のことを示していますか？

2. 20節について:
   a. 群衆がバラバを求めるのに、なぜ**説得**が必要なのですか。

3. 22節と25節について:
   a. 「こぞって」とは、***文字通り***民衆のすべて（100%）を意味するのでしょうか？（ルカ 23:27）
   b. そうでないとすれば、彼らは誰のことですか。

4. ピラトは、イエス様が何か法を犯したと考えたのですか。(23節)
   a. もしそうでないなら、なぜイエスは鞭打たれ、十字架につけられたのか。(24節）（マルコ 15:15）
   b. なぜ、彼は人々の前で手を洗ったのでしょうか？（24節）

5. 人々は、なぜ、どのような意味で、イエスの死の責任を受け入れたのですか。(25節)

ディスカッション: 歴史によると、キリスト教徒と名乗る者たちは、しばしばユダヤ人がキリストの死に特に責任があると非難し、そのためにユダヤ人を迫害してきました。 ***聖書によると***、私たちはこのことをどう感じ、どう考える***べき***なのでしょうか。(ヨハネ3:16、7:7、15:18、ルカ23:24、マタイ28:16-20、ローマ3:23、11)



賛美礼拝

御霊の導くままに、互いのために祈りましょう。以下についても祈りましょう。

- ❖ 今日の聖書箇所を正しく理解し、適用することが出来るように祈りましょう。
- ❖ 神が私たちに与えてくださった祝福に感謝する事が出来るように祈りましょう。
- ❖ 特に、私たちの罪を赦し、悔い改めることを可能にしてくださったことを感謝して祈りましょう。
- ❖ キリストに倣うことを常に求める私たちが、霊的に成長できるよう祈りましょう。